

第7回 一関地区広域行政組合
エネルギー回収型一般廃棄物処理施設
整備候補地選定委員会

日時 令和元年9月11日（水）

午前10時30分～午前11時30分

場所 一関市産業教養文化体育施設第1会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 現地調査対象候補地の決定について

(2) その他

4 そ の 他

5 閉 会

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備候補地選定委員会委員名簿

No.	役職	シ 氏 メイ 名	備考	専門分野等
1	委員長	ナカザワ ヒロシ 中澤 廣	工学博士 (岩手大学名誉教授)	廃棄物処理工学
2	副委員長	チバ ケイコ 千葉 啓子	医学博士 (岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)	環境影響評価
3	委員	アズマ アツキ 東 淳樹	農学博士 (岩手大学農学部)	動物生態学
4	委員	オオカワラ マサフミ 大河原 正文	工学博士 (岩手大学理工学部)	地盤工学
5	委員	タナカ カズユキ 田中 一幸	(一般財団法人日本環境衛生センター)	廃棄物処理
6	委員	ヒラツカ アキラ 平塚 明	理学博士 (岩手県立大学名誉教授)	植物生態学
7	委員	ヤマモト ヒロシ 山本 博	(元県南広域振興局副局長)	行政有識者

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備候補地選定の手順と考え方

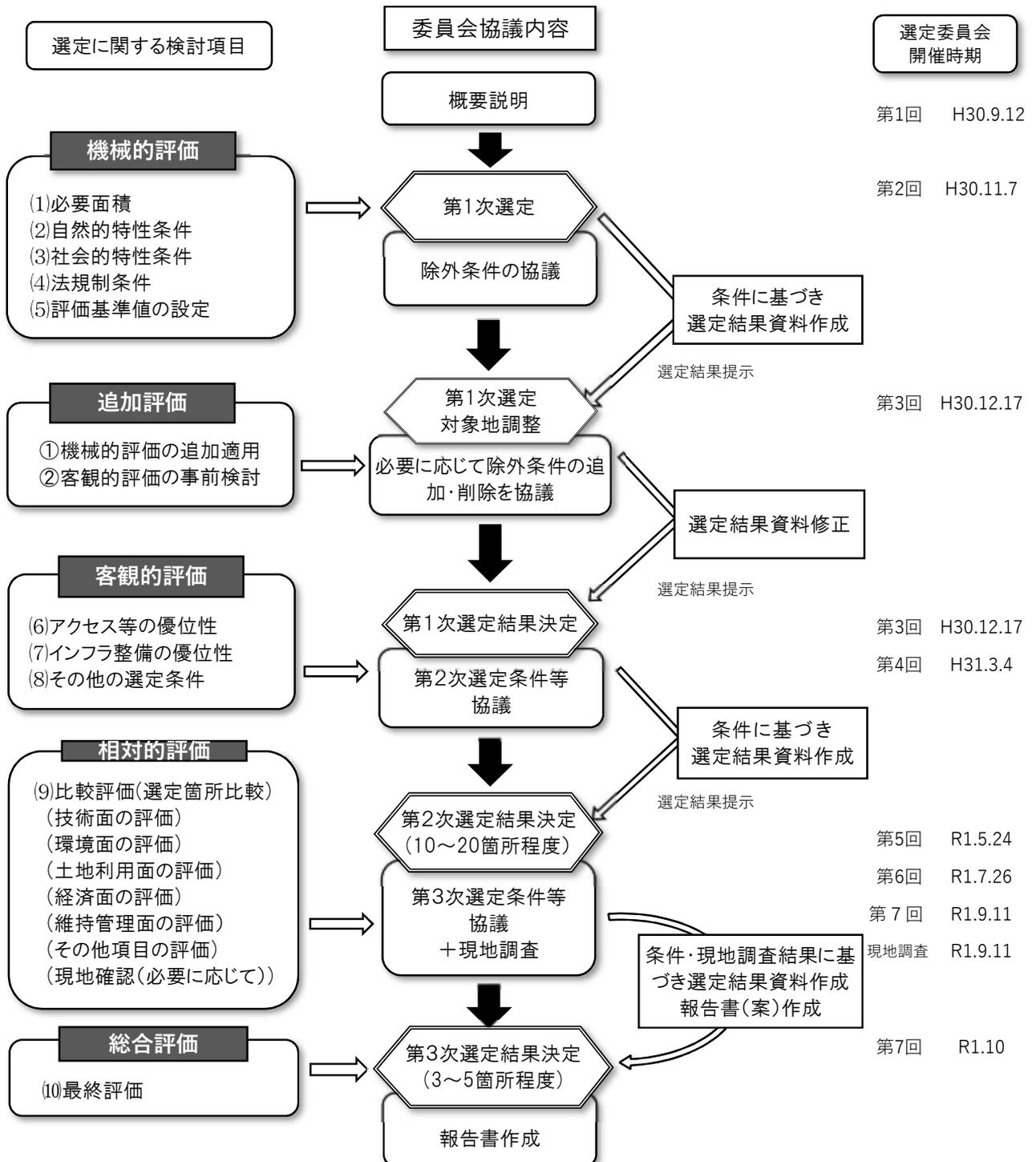
- 委員会による候補地選定の手順は下図による。
- 検討は、以下の考え方にに基づき、3段階で進める。

第1次選定：必要面積等から整備可能地域の条件を設定し、法的規制や災害の影響など、不適切と考えられる地域を除外し、残った範囲から条件に適合する地域を抽出する。

第2次選定：候補地を、アクセス性やインフラ整備の優位性、人口分布等の諸条件により、更に絞り込む。

第3次選定：技術、環境、経済面などを総合的に評価して、合理的な箇所を複数選定する。

候補地選定フロー



新焼却施設第3次選定評価①評価結果表

候補地No.	第2次選定比較評価		第3次選定評価①					合計	総計
			技術面の評価	土地利用面の評価	経済面の評価	土地権利面の評価	その他考慮すべき事項		
			×1.0	×0.5	×1.5	×1.5	×0.5		
60	56	点数	△ 1 × 1.0 = △1.0	△ 1 × 0.5 = △0.5	0 × 1.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 0.5 = 0.0	0.0	56.0
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △ ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.378	・敷地造成面積: 59,200㎡ ・取付道路延長: 360m	・所有者数: 1人 ・地上権設定地有			
82	58	点数	△ 1 × 1.0 = △1.0	1 × 0.5 = 0.5	0 × 1.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 0.5 = 0.0	1.0	59.0
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △ ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.164	・敷地造成面積: 60,500㎡ ・取付道路延長: 360m	・所有者数: 4人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 2人 ・地上権設定利有			
89	56	点数	0 × 1.0 = 0.0	1 × 0.5 = 0.5	1 × 1.5 = 1.5	△ 1 × 1.5 = △1.5	0 × 0.5 = 0.0	0.5	56.5
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △	・陰地割合: 0.167	・敷地造成面積: 53,100㎡ ・取付道路延長: 680m	・所有者数: 7人 ・遠隔地在住の所有者数: 5人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 5人 ・地役権設定地有			
93	56	点数	△ 1 × 1.0 = △1.0	0 × 0.5 = 0.0	2 × 1.5 = 3.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 0.5 = 0.0	3.5	59.5
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △ ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.194	・敷地造成面積: 50,500㎡ ・取付道路延長: 430m	・所有者数: 8人			
95	56	点数	△ 2 × 1.0 = △2.0	0 × 0.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	1 × 1.5 = 1.5	0 × 0.5 = 0.0	1.0	57.0
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: △ ・微地形の変化: × ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.329	・敷地造成面積: 61,600㎡ ・取付道路改良不要	・所有者数: 5人 ・遠隔地在住の所有者数: 2人	・工業団地に近接 ・近隣に神社及び寺あり		
113	60	点数	△ 1 × 1.0 = △1.0	△ 1 × 0.5 = △0.5	0 × 1.5 = 0.0	△ 1 × 1.5 = △1.5	1 × 0.5 = 0.5	△ 2.5	57.5
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △ ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.400	・敷地造成面積: 60,700㎡ ・取付道路延長: 590m	・所有者数: 15人 ・遠隔地在住の所有者数: 1人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 8人	・近隣に太陽光発電施設あり		
118	56	点数	0 × 1.0 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	△ 1 × 1.5 = △1.5	△ 1 × 1.5 = △1.5	0 × 0.5 = 0.0	△ 3.0	53.0
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △	・陰地割合: 0.342	・敷地造成面積: 64,400㎡ ・取付道路延長: 220m	・所有者数: 13人 ・遠隔地在住の所有者数: 1人			
119	56	点数	0 × 1.0 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 1.5 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	1.5	57.5
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: △	・陰地割合: 0.296	・敷地造成面積: 63,000㎡ ・取付道路改良不要	・所有者数: 10人 ・遠隔地在住の所有者数: 3人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 4人			
130	56	点数	△ 2 × 1.0 = △2.0	△ 1 × 0.5 = △0.5	△ 2 × 1.5 = △3.0	0 × 1.5 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	△ 5.5	50.5
		コメント	・基盤岩: △ ・盛土流用: × ・微地形の変化: × ※地形の不安要素あり	・陰地割合: 0.400	・敷地造成面積: 58,500㎡ ・取付道路延長: 1,000m	・所有者数: 11人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 2人			

候補地No.	第2次 選定 比較評価	第3次選定評価①							総計
		技術面の評価	土地利用面の評価	経済面の評価	土地権利面の評価	その他考慮すべき事項	合計		
								×1.0	
139	56	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$2 \times 0.5 = 1.0$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	2.0	58.0
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：× ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.000	・敷地造成面積：61,200㎡ ・取付道路改良不要	・所有者数：10人 ・遠隔地在住の所有者数：1人			
141	56	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$\Delta 2 \times 1.5 = \Delta 3.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	△ 6.0	50.0
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：× ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.091	・敷地造成面積：57,100㎡ ・取付道路延長：950m	・所有者数：14人 ・遠隔地在住の所有者数：1人			
154	56	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$\Delta 1 \times 0.5 = \Delta 0.5$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	1.5	57.5
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：△ ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.383	・敷地造成面積：56,700㎡ ・取付道路改良不要	・所有者数：13人			
199	56	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	0.5	56.5
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：△ ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.342	・敷地造成面積：61,900㎡ ・取付道路延長：530m	・所有者数：6人			
215	58	点数	$0 \times 1.0 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	△ 1.5	56.5
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：△	・陰地割合：0.363	・敷地造成面積：57,800㎡ ・取付道路延長：670m	・所有者数：14人 ・地役権設定地有			
218	58	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	2.0	60.0
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：△ ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.275	・敷地造成面積：56,500㎡ ・取付道路延長：530m	・所有者数：9人			
219	56	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$\Delta 2 \times 0.5 = \Delta 1.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$\Delta 2 \times 1.5 = \Delta 3.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	△ 7.5	48.5
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：× ・微地形の変化：× ※地形の不安要素あり	・陰地割合：0.536	・敷地造成面積：64,900㎡ ・取付道路延長：240m	・所有者数：138人 ・遠隔地在住の所有者数：6人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：128人			
222	56	点数	$2 \times 1.0 = 2.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	4.0	60.0
		コメント	・基盤岩：○ ・盛土流用：○ ・微地形の変化：○	・陰地割合：0.074	・敷地造成面積：57,200㎡ ・取付道路延長：360m	・所有者数：4人 ・遠隔地在住の所有者数：1人			
225	56	点数	$2 \times 1.0 = 2.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	4.0	60.0
		コメント	・基盤岩：○ ・盛土流用：○ ・微地形の変化：○	・陰地割合：0.091	・敷地造成面積：56,500㎡ ・取付道路延長：1,200m	・所有者数：1人			
233	56	点数	$1 \times 1.0 = 1.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	4.0	60.0
		コメント	・基盤岩：△ ・盛土流用：△ ・微地形の変化：△	・陰地割合：0.315	・敷地造成面積：59,800㎡ ・取付道路延長：250m	・所有者数：5人 ・遠隔地在住の所有者数：1人 ・地役権設定地有			

新焼却施設技術面の評価

候補地No.	基盤岩	盛土流用	微地形の変状など	点数
60	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
82	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
89	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い	0
93	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
95	△:低固結軟岩	△:砂質粘土、粘土質砂	×:概ね安定しているが、沢地形	△ 2
113	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
118	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い	0
119	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い	0
130	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	×:緩やかな山容で風化層厚い、崩壊地形見られる	△ 2
139	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	×:リニアメント確認、風化層厚い	△ 2
141	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土等※	×:緩やかな山容で風化層厚い、崩壊地形見られる	△ 2
154	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
199	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
215	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い	0
218	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	△:緩やかな山容で風化層厚い(鞍部あり)	△ 1
219	△:土砂～低固結軟岩	×:砂質粘土、砂礫等※	×:崩壊地形を多数確認	△ 2
222	○:軟岩～硬岩	○:砂礫、粘土交じり礫	○:概ね安定	2
225	○:軟岩～硬岩	○:砂礫、粘土交じり礫	○:概ね安定	2
233	△:土砂～硬岩	△:砂礫、砂質粘土、粘土混じり礫	△:概ね安定、南側やや風化層厚い	1

※:高含水比で改良が必要

【用語の説明】

基盤岩 : その土地の最も古い岩石
 盛土流用: 造成工事で発生した土を盛土へ流用する場合の適性
 微地形 : 地形図には表現されないような地表面の微細な特徴
 鞍部 : 山の尾根のくぼんだ箇所
 リニアメント: 空中写真で地表に認められる直線的な地形の特徴(崩壊地形や鞍部などを結んだもの)

評価	分布	説明
2	2	評価項目が全て○
1	1	評価項目が全て△
0	4	評価項目のうち2つが△、且つ鞍部や崩壊地形がない
△ 1	7	評価項目のうち2つが△
△ 2	5	評価項目のうち2つ以上×

新焼却施設土地利用面の評価

(単位: ha)

候補地No.	平場面積	想定整形地面積	陰地割合	点数
60	5.1	8.2	0.378	△ 1
82	5.1	6.1	0.164	1
89	5.0	6.0	0.167	1
93	5.0	6.2	0.194	0
95	5.1	7.6	0.329	0
113	5.1	8.5	0.400	△ 1
118	5.0	7.6	0.342	0
119	5.0	7.1	0.296	0
130	5.1	8.5	0.400	△ 1
139	5.0	5.0	0.000	2
141	5.0	5.5	0.091	1
154	5.0	8.1	0.383	△ 1
199	5.0	7.6	0.342	0
215	5.1	8.0	0.363	0
218	5.0	6.9	0.275	0
219	5.1	11.0	0.536	△ 2
222	5.0	5.4	0.074	1
225	5.0	5.5	0.091	1
233	5.0	7.3	0.315	0

平均 5.0 7.2 0.2705

【用語の説明】

想定整形地面積：各候補地の平場全域を囲む最少面積の長方形

陰地：想定整形地面積－平場面積

陰地割合：陰地/想定整形地面積

評価	陰地割合	分布
2	0.07未満	1
1	0.07以上0.17未満	5
0	0.17以上0.37未満	8
△ 1	0.37以上0.47未満	4
△ 2	0.47以上	1

新焼却施設経済面の評価

候補地No.	造成面積 (㎡)	平均で 除した数字	評価 (5割)	取付道路 延長 (m)	平均で 除した数字	評価 (5割)	合計	総合評価
60	59,200	1.003	0	360	0.818	0	0.0	0
82	60,500	1.025	0	360	0.818	0	0.0	0
89	53,100	0.900	2	680	1.545	△ 1	0.5	1
93	50,500	0.856	2	430	0.977	0	1.0	2
95	61,600	1.044	△ 1	0	0.000	2	0.5	1
113	60,700	1.029	0	590	1.341	0	0.0	0
118	64,400	1.092	△ 2	220	0.500	1	△ 0.5	△ 1
119	63,000	1.068	△ 1	0	0.000	2	0.5	1
130	58,500	0.992	0	1,000	2.273	△ 2	△ 1.0	△ 2
139	61,200	1.037	0	0	0.000	2	1.0	2
141	57,100	0.968	0	950	2.159	△ 2	△ 1.0	△ 2
154	56,700	0.961	0	0	0.000	2	1.0	2
199	61,900	1.049	△ 1	530	1.205	0	△ 0.5	△ 1
215	57,800	0.980	0	670	1.523	△ 1	△ 0.5	△ 1
218	56,500	0.958	1	530	1.205	0	0.5	1
219	64,900	1.100	△ 2	240	0.545	1	△ 0.5	△ 1
222	57,200	0.969	0	360	0.818	0	0.0	0
225	56,500	0.958	1	1,200	2.727	△ 2	△ 0.5	△ 1
233	59,800	1.014	0	250	0.568	1	0.5	1

平均 59,000 440 0.05

【用語の説明】

造成面積 : 5haの平場面積を確保するために必要となる面積

取付道延長 : 候補地から2車線道路までの間に改良や新設が必要となる道路延長

評価	造成面積	平均で 除した数字	分布	取付道延長	平均で 除した数字	分布	合計	分布
2	~54,300	~0.92	2	なし	0	4	1.0以上	3
1	54,301~56,600	0.92~0.96	2	1~260	0~0.6	3	0.5以上1.0未満	5
0	56,601~61,400	0.96~1.04	10	261~620	0.60~1.40	7	0以上0.5未満	4
△ 1	61,401~63,700	1.04~1.08	3	621~880	1.40~2	2	△0.5以上0未満	5
△ 2	63,701~	1.08~	2	881~	2~	3	△0.5未満	2

新焼却施土地権利面の評価

(単位:人)

候補地No.	所有者数	評価 (4割)	遠隔地在住 の所有者数	評価 (3割)	未相続・筆界 未定・共有の 土地の名義数	評価 (2割)	地役権・地上 権の有無	評価 (1割)	合計	総合評価
60	1	2		1		1	地上権	△ 1	1.2	1
82	4	2		1	2	0	地上権	△ 1	1.0	1
89	7	1	5	△ 1	5	0	地役権	0	0.1	△ 1
93	8	1		1		1		1	1.0	1
95	5	2	2	0		1		1	1.1	1
113	15	0	1	0	8	0		1	0.1	△ 1
118	13	0	1	0		1		1	0.3	△ 1
119	10	1	3	0	4	0		1	0.5	0
130	11	1		1	2	0		1	0.8	0
139	10	1	1	0		1		1	0.7	0
141	14	0	1	0		1		1	0.3	△ 1
154	13	0		1		1		1	0.6	0
199	6	2		1		1		1	1.4	2
215	14	0		1		1	地役権	0	0.5	0
218	9	1		1		1		1	1.0	1
219	138	△ 2	6	△ 1	128	△ 2		1	△ 1.4	△ 2
222	4	2	1	0		1		1	1.1	1
225	1	2		1		1		1	1.4	2
233	5	2	1	0		1	地役権	0	1.0	1

平均 15.16 1.16 7.21 0.67

【用語の説明】
 所有者数：想定される造成地の所有者数。ただし、一関市、平泉町及び施設候補地として情報提供のあった土地の所有者数は含まない。
 遠隔地：おおむね、盛岡、仙台より遠い場所(自動車移動で片道2時間程度以上の距離)
 未相続・筆界未定・共有の土地：保存登記がなされていない又は境界が未定又は同一住所ではない複数の所有者の土地
 ※上記は全て登記簿により確認

評価	所有者数	分布	遠隔地在住 の所有者数	分布	未相続・筆界未 定・共有の土地 の名義数	分布	地役権・地上 権の有無	分布	合計	分布
2	1~6	6		0		0		0	1.3以上	2
1	7~12	7	なし	9	なし	13	なし	14	1.0以上1.3未満	7
0	13~18	5	1~4	8	~10	5	地役権	3	0.4以上1.0未満	5
△ 1	19~24	0	5~9	2	11~20	0	地上権	2	△0.1以上0.4未満	4
△ 2	25~	1	10~	0	21~	1		0	△0.1未満	1

評価項目説明資料(焼却施設)

評価項目	技術面の評価		土地利用面の評価		経済面の評価		土地権利面の評価		その他考慮すべき事項	
配点	2点×1.0		2点×0.5		2点×1.5		2点×1.5		2点×0.5	
10	地盤・地質の状況	重量の大きい工作物を築造するため、地盤・地質の専門業者による現況調査の結果で評価する。	配置の自由度	施設配置しやすい整形地を基本とし、造成地の形状で評価する。	敷地造成費	工事面積に応じて評価する。	所有者数	所有者数に応じて評価する。	その他考慮すべき事項	《地域における土地利用の現状》 候補地に神社仏閣があり、その土地が地域の信仰の対象となっているなどの考慮すべき事情を評価する。 《売電時の可能性》 売電の選択肢が増えることから、工業団地、発電施設等との近接の状況を評価する。 《その他》 その他個別の事情があれば評価する。
20										
30										
40										
50					遠隔地在住の所有者数	おおむね、盛岡、仙台(自動車移動で片道2時間程度の距離)より遠くを遠隔地とし、遠隔地の在住者数に応じて評価する。				
60										
70										
80					取付道路延長	取付道路は、2車線の国道又は市道から候補地まで新設・改良するものとし、その延長に応じて評価する。	未相続・筆界未定・共有の土地の有無	明らかに相続が行われていない土地や、筆界未定の土地、共有地の有無を評価する。		
90										
100										
除外	必要面積確保の可否	施設用地として5ha程度が確保できない場合は除外する。					その他考慮すべき事項	個別の事情により、用地造成等ができないと判断される場合は除外する。		
上記のほか考慮した項目			土地利用計画	国、県、一関市及び平泉町において特定の目的をもって土地を集積する計画について調査したが、該当はなかった。	土地の価格	各候補地は主に山林や原野などのため、山林の固定資産税評価額を確認したところ、17.20～20.10円/㎡と有意な差は確認できなかった。	抵当権等の有無	抵当・根抵当・差押等の権利登記がされた土地があるが、土地取得上の支障項目として評価しない。	希少動植物生息状況	県に照会した結果、一部希少動植物の生息が確認されたことがある候補地はあったが、整備を制限される候補地はなかった。
					維持管理費	候補地の場所に関わらず、施設自体の維持管理費には大きな差異はないことから、支障項目として評価しない。				